

JAAM 多施設共同院外心停止レジストリ 概要

目的

心停止症例の蘇生に関わるデータを収集し、客観的な検証を行うことにより、心停止症例の救命率を向上させること。

目標

1. **PDSA (plan, do, study, act) サイクルに基づくマネージメント手法による、地域救急医療体制改善業務の支援**
2. 救急医療に関わる院内・院外データレジストリの集約と登録業務負担の軽減
3. 救急蘇生領域の臨床研究・疫学研究実践の促進
4. 客観的なデータに基づく参加施設へのフィードバック/ベンチマーキング

1. 対象施設

- 日本救急医学会主導のもとで研究参加施設を募る
- 参加施設の条件：JAAM 会員がおり、その会員が責任をもって研究を遂行でき、データ利用要領（別紙参照）に同意したもの

2. 対象期間

- 2014年6月1日～（継続的に実施予定）

3. 対象症例：参加施設に搬送されたすべての病院外心停止症例

4. 記録内容と方法

- ウェブ上での登録（登録方法の詳細についてはホームページの「データ入力に関わるルール」を参照）

5. レジストリの運営方法

- **運営母体：JAAM OHCA 特別委員会**
- データ利用要領等に規定したルールに従う。
- データは原則学会に帰属する
- 登録データを用いた解析および研究の実施
 - 新規研究テーマの募集を毎年10月頃に募集する。
 - 研究計画・解析計画が重複した場合は、日本救急医学会オープンミーティング（日本救急医学会総会期間中に開催）で調整する。
 - 自施設のデータを利用した研究・解析は自由（1年に1度 自施設のデータセットを登録参加施設に配信）

6. スケジュール（HPにて順次更新予定）

- 2014年6月1日～ 症例登録継続中（IRB承認施設から順次）
- 2016年8月 2016年の研究（解析）テーマを募集。41件承認。
- 2017年6月 2016年の解析データ（3865症例）を配布。
- 2017年11月 2017年の研究（解析）テーマを募集。21件承認。
- 2018年6月 2017年の解析データ（13175症例）を配布。
- 2019年10月 2018年の研究（解析）テーマを募集。68件承認

7. 参加施設登録状況（2020年1月末現在）

参加登録施設：97施設

登録症例数：53,620例